

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2024 助成の概要と推薦理由

助成番号 24-2-2

プロジェクト名 入院中・長期療養中のこどもたち・そのきょうだい家族を支援するネットワーク「小児病棟わくわく応援団」の連携強化

団体名 小児病棟わくわく応援団

代表者名 熊谷 恵利子

所在地 大阪府

助成額 161万円

助成期間 2024年4月1日～2025年3月31日

設立年 2023年

URL https://www.clinicdowns.jp/04_wakuwaku.html



コロナ禍における病院への訪問制限により、様々な支援団体が試行錯誤しながらもオンラインプログラムなどを新たに開発し、支援を届けてきた。しかし支援を必要としている人たちに万遍なく情報を届けるには、支援団体同士の連携や情報共有が有効であるが、そのような支援団体同士が繋がるネットワークは皆無であり、各団体も必要性を感じながらも、マンパワー不足などから積極的には取り組めていなかった。

2023年に開催した本プログラムの交流会をきっかけに、支援団体同士が繋がり、全国の小児病棟の療養環境を支えていく方法を共に検討するため「小児病棟わくわく応援団」が立ち上がった。

助成1年目は、団体の立ち上げ期にあたり、応援団を運営する6団体のミーティング、勉強会の実施など、定期的な学びと交流の機会を作った。その結果、団体同士の連携が深まり、情報共有だけでなく、気軽に相談できる関係性が構築され、コラボイベントを実施するなどネットワークの素地が出来てきた。

今回の助成では、定期的なミーティングと情報共有を行うとともに、病気や障がいを抱えるこどもたちや家族を応援する支援団体、小児病棟の取り組みを発信する「小児病棟にわくわくを届ける勉強会」を実施する。これまで通り支援団体に加え、病院スタッフ・家族など様々な立場の人と一緒に小児病棟の療養環境を考える機会を作る。また、学会でのブース出展や公式LINEを設置するなど情報発信を強化する。

当団体のように支援団体との繋がりを持ちたい人・団体は潜在的に多いと考えられる。小児病棟で働く医療従事者のニーズもあろう。まずは活動が認知されるよう学会での発表含め情報発信の充実に期待したい。